



H26. 12. 5. №1330  
静岡県漁業協同組合連合会  
☎054-254-6011 Fax054-253-9343  
編集・発行＝指導部漁業振興課  
URL:<http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

## 自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

受章されました。全漁連岸会長の式辞、佐藤英道農林水産大臣政務官（代読：本川一善水産庁長官）の祝辞に続き褒状と功労章の授与が行われ、受章者を代表して荒川会長が「漁協系統運動に携わってきた者にとって漁協運動功労者として表彰されることは最高の荣誉であり、本日の受章を励みとし、今後も高い志と夢を持って努力を惜しまない覚悟でいる」と答辞を述べました。

ここに、宮原様、橋ヶ谷様、荒川様に心よりお喜び申し上げ、今後一層のご活躍を期待いたします。

### 3. 第2回 Fish-1 グランプリ開催

11月2日東京築地市場において「Fish-1 グランプリ 2014」が開催されました。

今年度の同コンテストは、「築地市場まつり」内での企画として、昨年を引き続き行う「国産魚ファストフィッシュ商品コンテスト部門」に、新たに「プライドフィッシュ料理コンテスト部門」を加えた2部門で開催されました。各部門で1次書類審査を通過した5作品で最終審査が行われ「プライドフィッシュ料理コンテスト部門」において、いとう漁協（金のだし茶漬け）が見事グランプリに輝きました。同漁協は、前回も同コンテストで準グランプリを獲得していて2年連続の受賞となりました。今回、同漁協が出場した「プライドフィッシュ料理コンテスト部門」は、全国の都道府県漁連、漁協が四季ごとに旬の魚を選定したプライドフィッシュを使った部門、受賞作品「金のだし茶漬け」は本県のプライドフィッシュ（キンメダイ、イカ、シラス、アサリ）の中から伊東港水揚げのキンメダイを使用して調理されました。

### 4. 第34回全国豊かな海づくり大会が開催される

11月15、16日の両日、奈良県内で天皇・皇后両陛下ご臨席のもと全国の水産関係者及び地元奈良県民らが参加し「第34回全国豊かな海づくり大会～やまと」が開催されました。今回の大会テーマは『ゆたかなる 森がはぐくむ 川と海』で海に面していない奈良から全国へ「山の恵み、川の恵みへの感謝」を発信しました。

大淀町文化会館あらかしホールで開催された式典には525人が参加、大植正奈良県漁連会長の開会宣言に続き、大会会長 伊吹文明衆議院議員、荒井正吾奈良県知事があいさつを行いました。式典行事では、両陛下による放流魚のお手渡しのほか、功績団体の表彰、優秀作文の発表などが行われ、功績団体の大会会長賞は富山漁協、小川原湖漁協、五條市立阿太小学校が受賞、大会の最後に林業従事者夫妻が「やまと海づくりメッセージ」として「海につながる川、川につながる山を守っていく」と宣言し、次回開催地・富山県の石井隆一知事へ大会旗が引き継がれ閉会しました。

### 1. JF全国代表者集会在開催される

#### —JF グループ—

JF全漁連は、11月21日東京イイノホールに於いて、全国の漁業者が一堂に会するJF全国代表者集會を開催しました。集會では、来年から5年間（2015～2019）の運動方針「“水産日本”の復活に向けて～JFグループの挑戦～」を採択し、具体的運動方針として①漁業者の積極的参加を前提とした浜の活力再生プランの実施②組織の再編、経営基盤の健全化を目指す組織・事業基盤の確立と人づくり③漁村振興、水産の多面的機能の発揮など漁村活性化に向けたJFグループの役割発揮の3本柱の推進を確認しました。

冒頭、全漁連岸会長から「水産日本の復活への足掛かりを確かなものとするため、漁業者が行う漁業構造改革の試みをJFグループ挙げて支援し、浜の活力再生を通じJFの健全な運営により、豊かで活力ある漁業・漁村の創造につなげるため、運動方針の実践に総力を挙げて取り組みの実現を目指す」と主催者挨拶を行い、来賓の小泉昭男農林水産副大臣、石破茂地方創生大臣、竹下亘復興大臣がそれぞれの立場で挨拶を行いました。

集會の最後に川崎一好全漁連副会長が「JFグループは、プランの実践により、自ら『浜の活力再生』に全力で取り組むとともに、水産政策を確立し、『水産日本の復活』実現に総力を挙げて挑戦する」との特別決議を朗読、満場一致で採択された後、永富洋一副会長の閉會の言葉で集會は終了しました。

### 2. 本年度県知事表彰、農林水産業功労者表彰及びJF全漁連漁協運動功労者表彰

11月3日静岡県庁において、本年度の静岡県知事表彰の受賞式が執り行われました。県の最高位の表彰である知事表彰は、社会福祉や地方自治などの各分野において県勢発展に尽力し、功績を残した人々を表彰するものです。本年度知事表彰は44人と6団体で、産業開発振興功労部門で宮原淳一氏（県信漁連代表理事長、由比港漁協長）が受賞されました。過去に漁業分野での知事表彰は無く、宮原氏が初の受賞となりました。

県と農林水産業の関係団体で組織する静岡県農林水産業振興会（会長：川勝県知事）は11月4日県庁において農林水産業功労者表彰式を行い、個人の部30人と団体の部2団体の受賞者に表彰状が授与されました。水産業部門4人の受賞者のうち、漁業関係では橋ヶ谷長生氏（県無線漁協代表理事組合長、小川漁協専務）が本県水産業の振興発展に貢献した功績が認められ受賞しました。

JF全漁連は11月21日、東京・丸の内の東京會館に於いて2014年度漁協運動功労者表彰式を開催しました。本年度の表彰者は36人で本県からは、荒川邦夫JF静岡漁連会長が

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう